



Japan Writing Instruments
Manufacturers Association

日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成16年11月1日 12号

業界発展を期して理事会開催

日本筆記具工業会は10月6日、サクラクレパス大阪本社で理事会を開催し、16年上期の事業進捗状況について報告を行いました。

理事会開催に先立って西村貞一会長が挨拶に立ち、出席者の労をねぎらった上で、「素材の市況が2割程度上昇し、景気上向きの情勢にあるが、我々筆記具業界は相変わらず厳しい状況下にある。新しいものに挑戦し筆記具業界発展のために協調し、皆様と共に健闘していきたい」と業界の一層の発展を鼓舞しました。

理事会の要旨を次の通り報告します。

16年度第3回理事会抄録

総務委員会(委員長：今井正芳副会長)

山田壮佑委員報告

会員の入会促進について。

4月から9月末日までの会員の動静は次の通り。

- ・新規入会2社 (有)丸伸製作所
パイロットプレジジョン(株)
- ・退会なし

9月末日現在会員数：62社、1団体

役員を選任について。

副会長及び総務委員長に今井正芳氏が就任した。事由は(株)パイロットコーポレーション)役員交代による。

常務理事に内田高行氏(オート(株))が就任した。

事由は社長交代による。

会員交流促進企画・運営について。

通常総会開催時に懇親会を開催した(5/13)。

会員研修会を開催した(9/16)。内容は、a.中国模倣品の実態とその対応について(講師：ぺんてる(株)笹川徹氏) b.エコマークについて(講師：三菱鉛筆(株)西本洋二氏) c. C E マークについて(講師：(株)サクラクレパス塩井恵子氏)、研修会終了後に懇親会を開催した。(頁3に続く)

行政官庁との連絡・折衝について。

・中小企業信用保険法 ・特定業種の指定申請および更新を行った。

・17年度生産動態統計調査品目の見直しにつき検討。

その他、経済産業省に中国統計問題、アメリカ

貿易問題などを折衝した。

福利厚生関係について。

第1回 JWIMA ゴルフコンペを開催した(9/18)。(頁3に続く)

流通委員会(委員長：堀江圭馬副会長)

堀江圭馬委員長報告

消費税の総額表示問題について。

「総額表示」以降、卸・小売等流通関係者に混乱は発生しなかった。製品カタログの表示は前年同様とした。製品のゾーン表示については各社一任としたが、筆記具業界としてはこれを継続して表示する方向とした。

お客様相談窓口連絡会について。

各社の対応状況について検討した。今後、「お客様対応事例集」のまとめの作業を行うことにした。

調査研究・広報委員会(委員長：石川真一副会長)

増田勝弘副委員長報告

国内筆記具統計資料について。

月次筆記具統計(雑貨統計、貿易統計)データの収集およびHPへの掲載を行った。16年上半年(1~6月)筆記具統計を作成した。本年度から貿易統計を充実させ、対米輸出統計、中国からの輸入統計を併載した。

インターネット活用について。

本工業会ホームページのアクセス状況、並びに更新状況につき報告した。今後、コーナー「お役立ち情報」に「ボールペンの正しい使い方」などを追加することにした。

本工業会ニュース発行の報告。

その他、年末懇親会講師の折衝等について報告した。

技術委員会(委員長：数原英一郎副会長)

塩井恵子委員報告

各部会活動の報告

【鉛筆、色鉛筆及びそのしん JIS/ISO 部会】及び【シャープペンシル及びシャープ用しん JIS/ISO 部会】

下期から17年度に向けて JIS 規格の改正に向けて濃度試験用紙の調査研究を開始する。

【ボールペン JIS/ISO 部会】

JIS S 6061 ゲルインキボールペン及びレフィル新規制定及び JIS S 6039 ボールペン及び中しん・JIS S 6054 水性ボールペン及び中しんの改正について状況を報告した。

【マーキングペン JIS/ISO 部会】

JIS S 6037 マーキングペンの改正について状況を報告した。

知的財産部会

全日本文具協会が主導して行っている部会活動状況の報告を行った。

国際規格関連活動

経済産業省産業技術環境局の後押しにより、ゲルインキボールペン規格を ISO 規格(国際標準化機構)として提案するために次の活動を行った。

a. 国際規格適正化事業：(財)日本規格協会より委託を受け、新たに作成したゲルインキボールペンの英訳を行い ISO 規格として提案するために推進した。

b. 欧州筆記具工業会(EWIMA)技術委員会出席：ISO 規格提案の調整作業のため(財)日本規格協会を通じ補助金を受け、9月22日に開催されたEWIMA技術委員会に出席した。西本洋二副委員長、塩井恵子委員、小川洋平委員長(国際委員会)、伊藤眞吉副委員長(同)が出席した。

c. 日本工業標準調査会標準部会・消費生活技術専門委員会にて、西本副委員長が上記の提案について進捗状況を報告した。

国際委員会(委員長:小川洋平副会長)

伊藤眞吉副委員長報告

欧米の筆記具工業会との連絡について。

a. ISOT2004(7/1~3)会期中に本工業会、並びに欧州筆記具工業会(EWIMA)、米国筆記具工業会(WIMA)との三極会議を開催し、次の通りの協議を行った。ゲルインキボールペンの JIS 原案について。二酸化チタン情報(カリフォルニア・プロポジション 65)について。

b. 欧州で8月、ミヒラーズケトン及びアーノルドベースが発がん性危険物資として発令された旨の報告。

c. EWIMA 技術委員会に出席、ゲルインキボールペン規格を ISO 規格として提案(上記、技術委員会報告に同じ)

d. スイスの「日用品に関する条例」中の、アミン類等の規制値の見直し始まる旨の報告。

海外の模倣品対策に関する活動

2005 年開催のペーパーワールドにおいて EWIMA の主張で、模倣品対策が行われるようになった旨の報告。

中国、東南アジア諸国筆記具協会との国際交流。ISOT2004 会期中に中国側協会から積極交流の申し入れがあったが、実現しなかった。

(以上、理事会報告)

JIS 制定及び改正の報告 (技術委員会)

【制定】ボールペン JIS/ISO 部会(西本洋二部会長)が推進する「JIS S 6061:2004 ゲルインキボールペン及びレフィル」制定原案が9月30日、日本工業標準調査会標準部会・消費生活技術専門委員会で承認されました。平成17年1月制定・公示される見込みです。

【改正】「JIS S 6039:2000 ボールペン及び中しん」及び「JIS S 6054:2000 水性ボールペン及び中しん」の改正原案作成委員会が設けられ、第1回本委員会を10月20日に開催しました。

【改正】「JIS S 6037:2000 マーキングペン」の改正原案作成委員会が設けられ、第1回本委員会を10月27日に開催しました。

JWIMA 会員研修会アンケート
まとめ(総務委員会)

9月16日に開催した会員研修会にて、次回の講座内容に関するアンケートを実施しました。集計結果を報告します。

講座のレベルはいかがでしたか

ちょうどよかった..... 73.3%

一講座あたりの時間は

ちょうどよい..... 88.1%

開催は年何回を希望しますか

1回..... 36.7%

2回..... 55.0%

期待する研修会テーマは

- 新 J I S マーク制度について
- 海外安全規制の動向について
- お客様相談(クレーム処理)の現状について
- M S D S 制度、P R T R 法について
- 消費者保護基本法改正について
- ゲルインキボールペン J I S 化の現状について
- J W I M A における国際標準化事業について
- シックハウス、シックスクール(ホルムアルデヒド)規制について
- 知的財産権の登録について
- 新レコード式画線機について
- A P マーク(アメリカの規格、A P マーク取得法)について
- 特許法 35 条について

他、多数

会員研修会に 80 名が参加

総務委員会は知識の交流を通じて、業界のレベルアップを図ろうと9月16日、会員研修会を開催し



ました。テーマは模倣・環境・安全。講師は会員企業の専門家各位にお願いしました。当日は約80名の参加を得て健保会館の研修室はほぼ満席に。活発な質疑もあり、この会場での出会いをきっかけにさまざまな交流が始まった模様です。受講後のアンケートでは、「内容はちょうどよかった」とする声が8割、次回の講座への期待も多数寄せられました。研修会を終えて夕刻からは任意参加の懇親会を開催、講師を囲んで自社事例について相談するなど、盛んな交流がありました。総務委員会は会員の熱心な要望を受けて、この研修会を継続的に実施するよう準備に入りました。

<p>第一回講習会テーマと講師</p> <p>中国模倣品の実態とその対応について</p> <p>講師・笹川徹氏 (ぺんてる株)</p>
<p>エコマークについて</p> <p>講師・西本洋二氏 (三菱鉛筆株)</p>
<p>CEマークについて</p> <p>講師・塩井恵子氏 (株)サクラクレパス</p>

第1回ゴルフコンペ開催

秋の澄んだ空の下で親睦を図ろうと総務委員会は9月18日(土)、第1回ゴ



ルフコンペを開催しました。コースは、名門「紫カントリークラブ すみれコース」。20名で交歓プレーを楽しみました。優勝者は小林啓次さん(アイボール鉛筆)。西村会長から優勝賞品を授与されました。JWIMA ゴルフコンペはティグランドに立ったばかり、みなさんの参加をお待ちしています。

第3回「優良工場見学会」実施

好評のうちに回を重ねて第3回目となった本工業会と日本鉛筆工業協同組合共催の「優良工場見学会」、ことしは10月14日に化粧品工場と老舗の醸造工場を視察しました。参加者は30名、朝8時半から一日たっぷりの研修を行いました。

視察した工場

(株)ファンケル千葉工場(千葉県流山市)

医薬品レベルの厳しい基準を掲げるファンケルの生産工場。生産から充填にいたる工程で、雑菌や微生物が発生することがないようにクリーンルームやクリーンブース等の生産環境を整えて、安心・安全の無添加化粧品を生産していました。

キッコマン野田工場(千葉県野田市)

キッコマンの醤油づくりが始まったのは江戸時代初期。関東平野の良質な大豆や小麦、優れた



水資源による醸造、そうした伝統と環境を大切に守りながら、近代化を目指す先進の工場を視察しました。

JWIMA 講演会・懇親会 12月7日(火)

<ゲストに大沢啓二元日ハム監督を迎えて>

筆記具メーカーの恒例の納めとなった「JWIMA 講演会・懇親会」は12月7日(火)に開催が決定しました。講演会は夕刻5時から、懇親会は6時20分からです。

今回の講演会ゲストは、監督として半世紀のプロ野球史の中で725勝と輝かしい記録を残し、現在は「サンデーモーニング」(TBS)のコメントーターとして出演されている大沢監督。粋なきもの姿で「親分」の愛称で慕われ、多方面で活躍されています。プロ野球界に話題の多い時節柄、大胆でユニークなお話が期待されます。会員各位のご参加をお待ちしています。

大沢啓二氏プロフィール

日本ハム元監督

昭和27年 立教大学に進学、長嶋氏、杉浦氏とともに東京六大学野球で活躍。

昭和31年 南海ホークス(現ダイエー)に入団。

昭和46年 ロッテ監督に就任。

昭和51年 日本ハム監督に就任し、昭和56年には日本ハム球団創立以来リーグ初優勝に導く。

平成5年 日本ハム監督に復帰。

平成6年 シーズン終了後監督を辞任。

その他: ゆうもあくらぶ賞受賞・美しいキモノ、ベスト・ドレッサー賞受賞、平成15年には第46代きもの博士に選ばれる。



2004年4～6月の出荷・輸入・輸出

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出 荷	単位	2004年4-6月度		2003年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	115,406	7,370	117,326	7,233	-1.6%	1.9%
ボールペン(水性)	千本	229,570	10,024	246,658	10,537	-6.9%	-4.9%
マーキングペン	千本	179,650	9,264	182,136	9,223	-1.4%	0.4%
シャープペンシル	千本	81,735	5,181	69,635	4,773	17.4%	8.5%
黒しん鉛筆	gross	340,170	941	298,452	877	14.0%	7.2%
色しん鉛筆	gross	137,255	549	142,731	561	-3.8%	-2.1%
シャープしん	千本	962,804	1,507	952,578	1,639	1.1%	-8.0%
修正液	千本	13,942	1,219	14,569	1,315	-4.3%	-7.3%
修正テープ	千個	22,593	1,961	21,722	2,091	4.0%	-6.2%
クレヨン・パス	千本	20,549	298	20,149	305	2.0%	-2.3%
水彩絵の具	千本	16,171	705	17,916	758	-9.7%	-7.0%
合計金額			39,019		39,312		-0.7%

日本貿易統計

輸 出	単位	2004年月4-6度		2003年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	70,420	2,505	74,845	2,818	-5.9%	-11.1%
ボールペン(水性)	千本	195,749	8,402	193,113	8,314	1.4%	1.1%
マーキングペン	千本	82,414	3,491	81,619	3,474	1.0%	0.5%
シャープペンシル	千本	53,728	2,337	53,402	2,543	0.6%	-8.1%
万年筆	千本	1,738	230	1,749	236	-0.6%	-2.8%
製図用ペン	本	1,401	1	0	0	-	-
以上のセット品	千本	177	25	121	24	45.9%	5.7%
黒しん鉛筆	gross	30,979	71	30,724	87	0.8%	-18.5%
色しん鉛筆	gross	7,677	24	15,428	35	-50.2%	-29.9%
ボールペン用中芯	千本	64,403	797	55,260	692	16.5%	15.1%
マーキングペン用ペン先・コブポイント	千本	1,091,425	1,931	1,055,394	1,814	3.4%	6.4%
シャープ部品・付属品	Kg	55,053	281	46,296	248	18.9%	13.2%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	441,682	1,093	388,823	1,135	13.6%	-3.7%
シャープしん(鉛筆しん含む)	Kg	148,154	785	152,730	921	-3.0%	-14.8%
クレヨン・パス	Kg	38,092	110	48,692	97	-21.8%	13.7%
合計金額			22,082		22,437		-1.6%

日本貿易統計

輸 入	単位	2004年4-6月度		2003年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	60,649	1,531	51,543	1,480	17.7%	3.4%
マーキングペン	千本	45,613	681	50,315	599	-9.3%	13.8%
シャープペンシル	千本	9,415	239	11,672	300	-19.3%	-20.3%
万年筆	千本	84	241	426	226	-80.4%	6.4%
製図用ペン	本	15,182	9	3,729	3	307.1%	183.9%
セット品	千本	528	26	574	41	-8.0%	-35.3%
黒しん鉛筆	Kg	138,331	91	92,529	63	49.5%	44.3%
色しん鉛筆	Kg	385,797	293	262,244	210	47.1%	40.0%
ボールペン用中しん	千本	11,922	66	10,154	82	17.4%	-19.3%
ペン先及びコブポイント	千本	57,143	123	18,178	37	214.4%	233.3%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	206,227	468	190,882	429	8.0%	9.1%
ペン軸、その他の部分品	Kg	53,608	77	30,852	64	73.8%	21.0%
しん	Kg	95,688	115	84,530	81	13.2%	41.9%
パステル・チョーク	Kg	282,697	141	237,754	113	18.9%	24.5%
合計金額			4,102		3,727		10.1%